

日本福祉の まちづくり学会

第 18 回 全国大会（柏）
プログラム

CONTENTS

- 01 1. 学会長挨拶・大会長挨拶
- 03 2. 大会研究発表プログラム
- 12 3. 開催概要
- 17 4. 市民公開シンポジウム
- 20 5. 研究討論会
- 24 6. イベント案内
- 25 7. 見学会
- 26 8. 実行委員名簿
- 27 9. 広告協賛

1. 学会長挨拶・大会長挨拶



秋山 哲男

福祉のまちづくり学会
学会長
(中央大学研究開発機構
教授)

日本福祉のまちづくり学会の根幹を成す「福祉のまちづくり」をかみ砕いて言えば、高齢者・障害者等が安全・安心して健やかな生活が継続できる生活環境を作り上げることを目的とする総合的な学問です。

学会がスタートした1997年に第1回全国大会が世田谷区のキャロットタワーで開催されから、今回の柏市・東京大学の開催は18回を迎えます。当時の会員数は100人を超える程度でしたが現在は800人近くまで増えてきました。また全国大会もたった1日の開催でしたが、現在は3日間の開催と充実してきました。

今回の全国大会は本学会活動の重要な活動の1つで、全国の研究者の交流や地元の市民との交流の場です。この度は東京大学の大和大会長と鎌田実行委員長をはじめとする多くの学会委員の協力と、秋山浩保柏市長と市役所の方々をはじめとする多くの関係者の方々の協力をいただき、多様な内容で3日間を開催する運びとなりました。改めてお礼を申し上げます。

また今後には、人口減少社会と高齢化・少子化社会における新しい福祉のまちづくり、地震・火山の噴火・水害などからの支援が必要な人の安全問題、オリンピック・パラリンピック等を契機としたバリアフリー社会の更新など、新たな課題が出てきています。こうした問題の理論的・現実的な解決のための議論を深めていただき、日本福祉のまちづくり学会がさらに発展することを期待したいと思います。



大和 裕幸

福祉のまちづくり学会
第18回大会 大会長
(東京大学理事・副学長)

日本福祉のまちづくり学会の第18回全国大会が千葉県柏市で開催されることを大変うれしく思います。東京大学は、メインキャンパスを本郷、駒場とこの柏の3つで3極の構成となっており、柏は特に新しい学問分野の創成を目指し、様々なチャレンジをしているところです。柏市とも連携して、様々な取組みを行っており、本大会の主題である長寿社会のまちづくりを、豊四季台地域で実践したり、柏の葉エリアでは、UDCKというアーバンデザインセンターを中心に公民学の連携によるまちづくりを行っています。小職は、約10年前から柏キャンパスに研究室を持ち、柏市とオンデマンドバスの実証などを行ってきており、そこで得た知見を全国各地のオンデマンドバス運行に展開し、本学会のテーマである地域交通に係る研究を行っていることから、このような全国大会を柏で行えることは個人的にも非常にうれしく、また興味深い内容に強い期待を持っているところでございます。多くの方々が全国各地から集い、柏での取組みをご覧いただき、福祉のまちづくりに関する熱い議論を交わしていただき、今後の皆さまの取組み等にいかせるようになれば、大会長としてこの上ない喜びになります。大会実施にむけて、ご尽力、ご協力いただいた各位に御礼申し上げます。

2. 大会・研究発表プログラム

日時		プログラム
8月7日（金）	10：00～11：30	見学会A（豊四季台地域の長寿社会まちづくり）
	13：50～15：20	見学会B 1（国立がん研究センター東病院における障害者雇用）
	13：30～15：30	見学会B 2（柏の葉地域における健康未来都市のまちづくり）
	午後全般	サロン：東大高齢社会総合研究機構（IOG）の活動等の説明
8月8日（土）	9：30～11：30	研究発表
	13：00～17：30	研究発表
	11：30～13：30	ポスターセッション
	10：00～12：00	研究討論会 1
	13：00～15：00	研究討論会 2
	15：30～17：30	研究討論会 3
	17：40～18：00	特別イベント「シニアチア」
	18：00～18：15	学会賞授賞式
8月9日（日）	18：20～20：00	交流会
	9：00～11：00	研究発表
	9：30～11：30	研究討論会 4
	13：30～16：00	市民公開シンポジウム

8月8日（土）ポスターセッション

発表会場	ポスター発表会場P（1F）	
分野	ポスター コアタイムは11：30～13：30	
座長	高井 広行＋沼尻 恵子＋高橋 儀平	
P-1 石塚 裕子 / 大阪大学未来戦略機構第五部門 高齢者コミュニティにおける「最後のお見送り」に関する考察 美濃島聖也 加賀有津子	P-8 渡辺 俊介 / 特定非営利活動法人カラーユニバーサルデザイン機構 公共施設建設における総合的なカラーユニバーサルデザインの実施	
P-2 高橋 良至 / 東洋大学 認知症高齢者のための見守りロボットシステムの開発 河合俊宏	P-9 岡川 恒輝 / 特定非営利活動法人カラーユニバーサルデザイン機構 デジタルサイネージのカラーユニバーサルデザイン	
P-3 北村 弥生 / 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 マンション自治会における災害時要援護者支援～首都圏の定住型マンションの事例～ 我澤賢之	P-10 吉田 仁美 / 岩手県立大学 Deaf Women の就労	
P-4 小川 達寛 / 木更津工業高等専門学校 地域住民に配慮した道路交通改善案の提示ーひとと車の安心な共存ー 鈴木琢海 岐美宗	P-11 福田 大年 / 札幌市立大学 屋外遊びへの発展を促す屋内遊びの試み「こすってでるでる！もようがいっぱい」の活動報告ー頭と体と心をつなぐ遊びの活動「コネキッド」の取り組み事例の報告（11）ー 小宮加裕子	
P-5 竹内 潔 / 有限会社テイクス 歩きやすく白杖で分かる溝つき線状突起による誘導ラインの提案	P-12 狩野 徹 / 岩手県立大学 寺院のバリアフリー対応の状況に関する研究ー檀家寺と観光寺の違いー 吉田仁美	
P-6 伊賀 公一 / 特定非営利活動法人カラーユニバーサルデザイン機構 LED（発光ダイオード）のカラーユニバーサルデザイン	P-13 西島 衛治 / 九州看護福祉大学 地域公共交通に関する実態と今後の方向性	
P-7 田中陽介 / 特定非営利活動法人カラーユニバーサルデザイン機構 駅や街路における視認性の高い案内サインの実施例		

8月8日（土） 午前		
発表会場	研究発表会場A（講義室2）	研究発表会場B（講義室3）
セッション No.	I 1A	I 1B
分野	建築・住環境整備1	観光地・観光バリアフリー
座長	阪東 美智子	吉田 樹
9:30～9:45	I 1A-1 / PR0060	I 1B-1 / PR0031
	鈴木 孝明 / 東洋大学大学院 4障害種別を併設した特別支援学校における施設 環境の整備課題 菅原麻衣子	丹羽 菜生 / 一級建築士事務所 BASSTRONAUTS 東京都の重要文化財とそれに関連する建物のアクセシビリティに関する調査 その1 丹羽太一 高橋儀平
9:45～10:00	I 1A-2 / PR0067	I 1B-2 / PR0126
	持田 美沙子 / 熊本大学 都市近郊部における高齢者の住まい方と居住継続 のための地域交流	平井 木綿子 / 神戸大学大学院 知的障がい者の旅行の実態および「バリアフリー 旅行」に対する意識に関する研究 ―障がい当事者、 関係者へのアンケート調査を通じて― 大西一嘉
10:00～10:15	I 1A-3 / PR0093	I 1B-3 / PR0120
	澤田 有希 / 国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 事例報告からみる住環境整備の目的と効果 橋本美芽	中子 富貴子 / 神戸山手大学 ユニバーサルツーリズム促進における官民の動向
10:15～10:30	I 1A-4 / PR0073	I 1B-4 / PR0080
	牛木 彩子 / 国際医療福祉大学 重症心身障がい児（者）の地域生活に向けた保護 者の活動とケアホーム設立について 持田美沙子	伊藤 緑 / 岩手県立大学大学院 積雪観光地における車いす利用者の旅行の課題 ―脳挫傷による右片麻痺のある女性 A を事例とし て― 狩野徹
10:30～10:45	I 1A-5 / PR0072	I 1B-5 / PR0134
	上野 勝代 / 神戸女子大学 精神障がい者の家族が望む居住システム 前田泰子	井坂 美子 / 茨城大学大学院 ユニバーサルビーチの成立経過と活用状況 山田稔
10:45～11:00	I 1A-6 / PR0038	
	土川 忠浩 / 兵庫県立大学 情報交換誌「はがき通信」にみる四肢麻痺者の生活・ 体験情報に関する研究	
11:00～11:15	I 1A-7 / PR0086	
	山崎 晋 / 小山工業高等専門学校 住宅内における高齢者の転倒事故の発生およびヒ ヤリ・ハットの実態 ―秩父市における高齢者の家 庭内事故に関する研究 その1― 水村容子	

8月8日(土) 午前

発表会場	コメンテーター論文発表会場 C-C (講義室 4)	コメンテーター論文発表会場 C-C (講義室 5)
セッション No.	I C-1C	I C-1D
分野	コメンテーター：移動・外出	コメンテーター：建築・住環境整備
座長	長谷川 万由美	古瀬 敏
10:05 ~ 10:30	I C-1 C-1 /PR0081	I C-1 D-1 /PR0094
	三村 泰広 / 公益財団法人 豊田都市交通研究所 車いす利用者による乗合バス利用時の心理的バリアの実態 加藤章 平山晶士 樋口恵一 水谷克博 荻野弘 コメンテーター / 今田 寛典	宮野 順子 / 兵庫県立福祉のまちづくり研究所 住民参加型の点検と助言による施設改善に関する研究－兵庫県におけるチェック&アドバイス制度を事例として－(その2) 難波健 三谷信之 北川博巳 コメンテーター / 原 利明
10:35 ~ 11:00	I C-1 C-2 /PR0028	I C-1 D-2 /PR0110
	佐藤 真理子 / 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 障害当事者が参加した交通事業者向けバリアフリー研修の実施と普及に向けた課題 澤田大輔 松原淳 秋山哲男 鈴木美咲 吉田雅俊 コメンテーター / 長谷川 万由美	岩浦 厚信 / 宮崎市役所 全国自治体における建築物のバリアフリー化関連条例の運用実態について －条例の役割と行政指導のあり方－ 高橋儀平 コメンテーター / 古瀬 敏
11:05 ~ 11:30	I C-1 C-3 /PR0114	I C-1 D-3 /PR0058
	庄子 美優紀 / 株式会社 長大 子ども連れ世帯の外出抵抗の評価に関する研究 長野博一 明渡隆浩 藤井敬宏 コメンテーター / 大森 宣暁	山田 義文 / 東洋大学 豪雪中山間地における高齢者の地域居住継続に関する現状と課題に関する研究－高齢者生活支援ハウス入居者の住環境移行時における分析－ コメンテーター / 佐藤 克志

8月8日（土） 午後1		
発表会場	研究発表会場A（講義室2）	研究発表会場B（講義室3）
セッション No.	I 2A	I 2B
分野	建築・住環境整備2	移動・外出1
座長	水村 容子	長野 博一
13:00～13:15	I 2A-1 / PR0078	I 2B-1 / PR0020
	三谷 信之 / 兵庫県立福祉のまちづくり研究所 聴覚障害者にも働きやすい職場環境 大西俊介 末田統	山名 勝 / 交通まちづくり研究会 台北市の交通実態と日本のバリアフリー
13:15～13:30	I 2A-2 / PR0017	I 2B-2 / PR0129
	三谷 千瀬 / 練馬区 練馬区における既存建築物バリアフリー促進の 取組（2）～改修助成 18 年間の推移と課題～ 大場奈央	森口 将之 / 株式会社モビリティ 自動車会社による福祉車両開発の現状と展望
13:30～13:45	I 2A-3 / PR0121	I 2B-3 / PR0112
	室崎 千重 / 奈良女子大学 木造応急仮設住宅における居住者に合わせた バリアフリー対応に関する研究 糟谷佐紀	星野 真美 / 株式会社クワハタデザインオフィス JR 蒲田駅西口駅前広場の再整備に伴うサイン計画 の取り組み 桑波田謙
13:45～14:00	I 2A-4 / PR0074	I 2B-4 / PR0051
	藤岡 泰寛 / 横浜国立大学大学院 高齢化の進む長期経過団地における DIY ヒート ショック対策技術の開発研究 田中稲子	中山 剛 / 国立障害者リハビリテーションセンター 高次脳機能障害者が切符の自動券売機を利用する 際の困難さに関する調査 野尻剛史 花房昭彦
14:00～14:15	I 2A-5 / PR0019	I 2B-5 / PR0015
	植田 瑞昌 / 日本大学大学院理工学研究科 乳幼児の排便後始末に関する現状と課題 子育て 層のオストメイト用汚物流しの共同利用に向けて の考察 三浦春菜 三谷千瀬 野村歡	井上 俊孝 / 西九州大学健康福祉学部 肢体不自由者における、単独旅行の注意点 左片 麻痺者の実体験から
14:15～14:30	I 2A-6 / PR0018	I 2B-6 / PR0001
	植田 瑞昌 / 日本大学大学院理工学研究科 重症心身障害児（者）の外先での排泄環境に関 する事例報告と問題点 八藤後猛 野村歡	細江 太郎 / 大阪市都市整備局 波形手すりの使用感に関する障がい当事者チェック 鈴木千春
14:30～14:45	I 2A-7 / PR0043	
	小松 修司 / TOTO 株式会社 小規模施設における高齢者含む成人のトイレ利用 に関する意識調査 河野裕之 高橋儀平	

8月8日(土) 午後1		
発表会場	コメンテーター論文発表会場 C-C (講義室4)	コメンテーター論文発表会場 C-D (講義室5)
セッション No.	I C-2C	I C-2D
分野	コメンテーター：交通システム	コメンテーター：地域社会・生活支援
座長	松原 淳	小板橋 恵美子
13:00 ~ 13:25	I C-2 C-1 / PR0061	I C-2 D-1 / PR0056
	上野 俊行 / 東京大学総合文化研究科 タイにおける公共交通機関のバリアフリー ースカイトレインのバリアフリー化からー コメンテーター / 北川 博巳	佐藤 剛 / ライフシステム研究所 地方の中小企業協同組合によるユニバーサルデザ インの実践研究 ー高齢者住宅での PDCA サイクルの試みー 佐藤克之 コメンテーター / 高橋 儀平
13:30 ~ 13:55	I C-2 C-2 / PR0099	I C-2 D-2 / PR0117
	大森 清博 / 兵庫県立福祉のまちづくり研究所 聴覚障害者の無人駅および駅員巡回駅の利用状況 に関する研究 三谷信之 北川博巳 コメンテーター / 吉田 樹	繁成 剛 / 東洋大学 強化段ボールと間伐材を使った被災地支援 コメンテーター / 岡 正彦
14:00 ~ 14:25	I C-2 C-3 / PR0124	I C-2 D-3 / PR0102
	吉田 樹 / 福島大学 経済経営学類 生活交通としてのタクシーの選択可能性向上に関 する実証研究 ー埼玉県秩父地域「回数券タクシー」 実証実験を事例にー コメンテーター / 松原 淳	伊東 英幸 / 日本大学 集合住宅における高齢者の身体活動と近隣歩行環 境評価結果の分析 ー千葉県の習志野台団地を対象としてー 岡本真幸 藤井敬宏 コメンテーター / 依頼中
14:30 ~ 14:55		I C-2 D-4 / PR0075
		難波 健 / 兵庫県立福祉のまちづくり研究所 高齢者の郊外居住における居住の継続に関する 研究 北川博巳 宮野順子 コメンテーター / 狩野 徹

8月8日(土) 午後2			
発表会場	研究発表会場A (講義室2)	研究発表会場B (講義室3)	研究発表会場C (講義室4)
セッションNo.	I 3A	I 3B	I 3C
分野/座長	建築・住環境整備3 / 北川 博巳	教育・人材育成 / 平田 賢典	まちづくりとユニバーサルデザイン / 川内美彦
15:00-15:15	I 3A-1 / PR0068	I 3B-1 / PR0005	I 3C-1 / PR0096
	水村 容子 / 東洋大学 住宅内における高齢者の転倒事故の発生およびヒヤリ・ハットの要因分析ー秩父市における高齢者の家庭内事故に関する研究 その2ー 山崎晋	井手 将文 / 佐賀大学 市販ゲームの共用体験による障害に対するイメージ変容 (第五報)	今田 寛典 / 広島文化学園大学 地方の中小都市における人口流動と高齢化率の実態と課題 ー呉市を事例としてー 王宇
15:15-15:30	I 3A-2 / PR0059	I 3B-2 / PR0006	I 3C-2 / PR0050
	石川 彌榮子 / 城西国際大学 高齢者向け住宅居住者の日常生活状況 ー開設後21年目の事例について 小池和子	井手 将文 / 佐賀大学 高齢者疑似体験で障がいを持つ高齢者の理解は深まるのか?	松原 淳 / 交通エコロジー・モビリティ財団 健康医療福祉都市構想とヘルシーロードの実践 佐藤真理子 鈴木美咲 北野知裕 山岸美紀
15:30-15:45	I 3A-3 / PR0062	I 3B-3 / PR0057	I 3C-3 / PR0076
	古瀬 敏 東京2020年:望ましいアクセシビリティ水準を考える	田中 賢 / 日本福祉大学 各種国家資格試験での障害者特別措置に関する考察 野村 寛 中屋俊克	江守 央 / 日本大学理工学部 東京都23区における歩道状公開空地の管理に関する研究
15:45-16:00	I 3A-4 / PR0090	I 3B-4 / PR0103	I 3C-4 / PR0132
	牟田 聡子 / 日本大学理工学部まちづくり工学科 妊娠期から育児期における環境整備に関する基礎研究 妊娠期から育児期における生活環境に関する調査 その1 八藤後猛	橋本 和幸 / 北海道ユニバーサル上映映画祭実行委員会 ユニバーサルデザイン(UD)教育の取り組みー北海道ユニバーサル上映映画祭での実践よりー 鈴木克典 島信一郎	岡崎 均 / 世田谷区 当事者と専門家と共に検討する場を取入れたデザインプロセスの可能性ー世田谷区内の商業施設での触知図板の設置を事例としてー 宮田政治
16:00-16:15	I 3A-5 / PR0053	I 3B-5 / PR0109	I 3C-5 / PR0115
	正田 小百合 / 日本女子大学家政学部 杉並区における子育て支援施設利用の課題の考察 佐藤克志	養輪 裕子 / 聖徳大学短期大学部 「心のバリアフリー」教育に関する研究ー大学生向けの講演会の効果ー	稲永 陽子 / 練馬区 練馬区における福祉のまちづくりの取組についてー身近なまちのつどいの場ガイドブックの作成ー 小池理子 三谷千瀬
16:15-16:30	I 3A-6 / PR0007	I 3B-6 / PR0029	I 3C-6 / PR0113
	西村 顕 / 横浜市総合リハビリテーションセンター 知的・発達障害のある子どもの住まいに関する研究ーキッチンまわりにおける事故実態と家庭内での対応方法ー 小野山薫 野口祐子 藤岡泰寛	岡 正彦 / 東北福祉大学 地域防災教育ゲーム開発の基礎的研究ー指定避難所の活動イメージトレーニングゲームー	稲永 陽子 / 練馬区 練馬区における福祉のまちづくりの取組についてー福祉のまちづくりパートナーシップ区民活動支援事業ー 小池理子 三谷千瀬
16:30-16:45		I 3B-7 / PR0084	I 3C-7 / PR0106
		大場 奈央 / 明治大学公共政策大学院 板橋区の災害時の助け合いの仕組みづくりについてー避難行動要支援者名簿の活用に向けてー	櫻庭 晶子 / 筑波技術大学 高齢者の屋外活動を誘発する緑地保全活動の参加要因 高瀬唯 古谷勝則
16:45-17:00		I 3B-8 / PR0011	
		土居 靖範 / 立命館大学 地域交通政策づくりにおける自治体職員の力量向上の課題	

8月8日(土) 午後2

発表会場	研究発表会場D (講義室5)	研究発表会場E (講義室6)
セッションNo.	I 3D	I 3E
分野/座長	防犯・防災・安全 / 磯部 友彦	案内・誘導・情報バリアフリー / 原 利明
15:00-15:15	I 3D-1 / PR0022	I 3E-1 / PR0009
	朝日向 猛 / 一般財団法人 国土技術研究センター 災害時要援護者の避難環境整備に関する研究 (板橋区内でのケーススタディ) 沼尻恵子 鈴木圭一	矢部 建三 / 神奈川県総合リハビリテーションセンター 七沢更生ライトホームの歩行訓練の効果 ～利用者の歩行訓練の到達度を指標として～ 内野大介 末田靖則
15:15-15:30	I 3D-2 / PR0040	I 3E-2 / PR0083
	沼尻 恵子 / 一般財団法人 国土技術研究センター 放課後等デイサービス事業所における防災対策に 関する考察 ～仙台市つばめっこにおける避難訓練 等の取組を通じて～ 朝日向猛 岡正彦	坂本 洋一 / 株式会社ピュアスピリッツ 視覚障害者の移動を支援する同行援護に関する実態把握と課 題 (1) 中野泰志 末田靖則 堀智貴 高木憲司 片桐大樹
15:30-15:45	I 3D-3 / PR0127	I 3E-3 / PR0087
	大塚 毅彦 / 国立明石工業高等専門学校 社会福祉施設の災害時・平常時における地域貢献に 関する考察	堀 智貴 / 株式会社ピュアスピリッツ 視覚障害者の移動を支援する同行援護に関する実態把握と課題 (2) ー地域差と制度の理解度に関する都道府県・市区町村調査ー 中野泰志 末田靖則 坂本洋一 高木憲司 片桐大樹
15:45-16:00	I 3D-4 / PR0026	I 3E-4 / PR0108
	西岡 恵里奈 / 呉工業高等専門学校 運転免許非保有者の交通規則・交通マナーの知識 量に関する調査研究 ー高専生を事例にー 山岡俊一 佐賀野健 坂本淳 野田宏治	高木 憲司 / 和洋女子大学 視覚障害者の移動を支援する同行援護に関する実態把握と課 題 (3) ー事業の内容と経営実態に関する事業者調査ー 中野泰志 末田靖則 坂本洋一 堀智貴 片桐大樹
16:00-16:15	I 3D-5 / PR0024	I 3E-5 / PR0085
	谷内 久美子 / 大阪大学大学院工学研究科 高齢者の有する水害の記憶の活用に関する一考察	片桐 大樹 / 株式会社ピュアスピリッツ 視覚障害者の移動を支援する同行援護に関する実態把握と課 題 (4) ーサービス内容の満足度に関する利用者調査ー 中野泰志 末田靖則 坂本洋一 堀智貴 高木憲司
16:15-16:30	I 3D-6 / PR0118	I 3E-6 / PR0082
	阪東 美智子 / 国立保健医療科学院 地域防災計画における要援護者対策及び応急仮 設住宅対策 ー高齢者・障がい者等に配慮した民 間仮設住宅の供与の方策に関する研究 その2ー 佐藤由美 中村美安子	中野 泰志 / 慶應義塾大学 視覚障害者の移動を支援する同行援護に関する実態把握と課 題 (5) ー視覚障害特別支援学校におけるサービス利用実態 とニーズに関する全国調査ー 末田靖則 坂本洋一 堀智貴 高木憲司 片桐大樹
16:30-16:45		I 3E-7 / PR0089
		老田 智美 / 株式会社 NATS 環境デザインネットワーク 視覚障害者の外出先トイレにおける移動方法と利用状況 ー視 覚障害者のユニバーサルデザイントイレ環境に関する研究ー 田中直人
16:45-17:00		I 3E-8 / PR0130
		吉本 浩二 日本と香港の現状比較を踏まえた新しいエスカレータの音サ イン提案

8月9日（日） 午前			
発表会場	研究発表会場A（講義室2）	研究発表会場B（講義室3）	研究発表会場C（講義室4）
セッションNo.	II 1A	II 1B	II 1C
分野/座長	国際協力・国際化/佐藤 克志	移動・外出2/大森 宣暁	地域社会・生活支援/今田 寛典
09:00-09:15	II 1A-1 / PR0030	II 1B-1 / PR0010	II 1C-1 / PR0065
	山名 勝 / 交通まちづくり研究会 オリ・パラ来訪車イス使用者の鉄道利用への深刻な問題	澤田 大輔 / 交通エコロジー・モビリティ財団 公共交通機関における障害者差別解消法施行に向けた調査 松原淳 高橋儀平 北川博巳 黒寄隆	中谷 徹 / 金沢大学大学院 福祉のまちづくりによる地域の創造 ー金沢市の地域福祉活動を事例としてー
09:15-09:30	II 1A-2 / PR0049	II 1B-2 / PR0023	II 1C-2 / PR0079
	高橋 未樹子 / コマニー株式会社 イスラム教に配慮した施設について	高橋 徹 / 交通エコロジー・モビリティ財団 旅客船におけるバリアフリー化に関する考察 澤田大輔	佐藤 由美 / 奈良県立大学 横浜市大規模団地における高齢者の自立生活支援の実態 ～ケーススタディをもとに 阪東美智子
09:30-09:45	II 1A-3 / PR0013	II 1B-3 / PR0116	II 1C-3 / PR0025
	川内 美彦 / 東洋大学 IPC ガイドから見たバリアフリー法の問題点	樋口 恵一 / 公益財団法人 豊田都市交通研究所 中山間地域における高齢ドライバーの活動量と将来の手段選択に関する分析 福本雅之 向井希宏	今井 朝子 / ZenZenLab（フリーランス・ユーザーリサーチャー） セカンドライフを始める高齢者が自分に合った活動を探す過程を支援するアクションリサーチの報告 ー柏市セカンドライフプラットフォーム事業からの第1報ー
09:45-10:00	II 1A-4 / PR0021	II 1B-4 / PR0111	II 1C-4 / PR0069
	渋谷 光美 / 羽衣国際大学 人間生活学部 ベトナムの福祉施設における地域社会連携の重要性について ー国立保護施設と慈善事業施設との実情を通じた検討ー	中岡 良司 / 日本赤十字北海道看護大学 地域を支えるインフォーマルサービスの事業立ち上げについて 竹田保 工藤みゆき	松井 宏昭 / 社会福祉法人青葉会 自閉症のある人の地域生活支援 ー柏市での取組みー
10:00-10:15	II 1A-5 / PR0036	II 1B-5 / PR0123	II 1C-5 / PR0034
	仁科 伸子 / 熊本学園大学 移民第一世代女性のインテグレーションの過程と要因に関する考察	明渡 隆浩 / 日本大学大学院 子ども連れ世帯の保育送迎時における行動実態と課題に関する基礎的研究 長野博一 伊東英幸 庄子美優紀 藤井敬宏	伊藤 敦 / 自由が丘産能短期大学 外来患者の8割を診療所医療で対応した場合の医療費抑制効果 大塚良治
10:15-10:30	II 1A-6 / PR0066	II 1B-6 / PR0014	II 1C-6 / PR0044
	木島 英登 / バリアフリー研究所 スタジアムにおける車いす席整備の国際比較 価格と座席数の相関関係	長谷川 万由美 / 宇都宮大学 公共交通利用に関する母親のニーズ	宮崎 幸恵 / 東海学園大学 愛知県日進市における高齢者サロンの現状と課題 高齢者の居住支援に関する研究 その5 鈴木博志
10:30-10:45	II 1A-7 / PR0063	II 1B-7 / PR0035	II 1C-7 / PR0046
	土橋 喜人 / 独立行政法人国際協力機構 福まちと国際協力が繋がるための事例研究と可能性の模索	天野 圭子 / 鳥取大学 電動車椅子利用者のバス利用に関する研究	山下 太郎 / 呉工業高等専門学校 まちづくり若者提案事業の活動紹介 ー広島県呉市阿賀地区の事例ー 山岡俊一 佐賀野健 鳥山剛 西岡恵里奈 下山航平
10:45-11:00	II 1A-8 / PR0004	II 1B-8 / PR0095	II 1C-8 / PR0027
	高橋 儀平 / 東洋大学 日本・中国・韓国のバリアフリー法及び施設整備の到達点 ー中国、韓国の設計標準の考察ー	菊池 英里 / 宇都宮大学 栃木県の生活支援交通 ーデマンド型交通を中心とした移動サービスの現状ー	下山 航平 / 呉工業高等専門学校 高齢化の進む地域におけるコミュニティの実態 ー呉市阿賀地区を事例にー 山岡俊一 佐賀野健 坂本淳 野田宏治 鳥山剛

8月9日(日) 午前		
発表会場	研究発表会場D(講義室5)	研究発表会場E(講義室6)
セッションNo.	II 1D	II 1E
分野/座長	交通システム/狩野 徹	案内・誘導・情報バリアフリー 2/八藤後 猛
09:00-09:15	II 1D-1 / PR0097	II 1E-1 / PR0107
	藤澤 大貴 / 日本大学大学院 千葉県の介護タクシー事業における課題抽出に関する研究 藤井敬宏	水野 映子 / 株式会社第一生命経済研究所 福祉のまちづくりにおける聴覚障害者等への対応
09:15-09:30	II 1D-2 / PR0033	II 1E-2 / PR0070
	野田 宏治 / 豊田工業高等専門学校 高齢運転者の事故防止に向けた免許返納の可能性について 荻野弘 山岡俊一	小川 達也 / 日本大学 視覚障害者歩行支援システムに用いる3次元モデルの作成 佐田達典 江守央
09:30-09:45	II 1D-3 / PR0122	II 1E-3 / PR0041
	磯部 友彦 / 中部大学 大都市近郊地域におけるデマンド交通システムの利用者層について	柳原 崇男 / 近畿大学理工学部社会環境工学科 高齢者に対する路面サインの文字可読性に関する研究 大森清博 北川博巳 池田典弘
09:45-10:00	II 1D-4 / PR0002	II 1E-4 / PR0071
	鎌田 実 / 東京大学 大震災被災地での移動・交通に関する検討(その1:釜石でのデマンドバス等)	岩田 三千子 / 摂南大学 ターミナルにおける鉄道乗換時の案内サインの問題点の検討 田中直人 安部信行 土田義郎 大森清博 北川博巳 池田典弘 二井るり子
10:00-10:15	II 1D-5 / PR0003	II 1E-5 / PR0092
	鎌田 実 / 東京大学 大震災被災地での移動・交通に関する検討(その2:大槌でのパーソナルモビリティ等)	伊藤 啓 / 東京大学分子細胞生物学研究所 ロービジョン者への視認性と景観との調和を両立させた誘導ブロックの開発 その3
10:15-10:30	II 1D-6 / PR0048	II 1E-6 / PR0091
	松原 淳 / 交通エコロジー・モビリティ財団 我が国におけるパーソナルモビリティの可能性と課題 北川博巳 高橋良至	井上 賢治 / 医療法人社団済安堂井上眼科病院 既存眼科病院の建て替えに伴うユニバーサルデザインの取り組み 西葛西・井上眼科病院におけるUDの取り組みについてー報告ー 原利明 間瀬樹省 桑波田謙 太田篤史 松田雄二
10:30-10:45	II 1D-7 / PR0052	II 1E-7 / PR0131
	李 虎奎 / 芝浦工業大学 高齢者のためのパーソナル・モビリティの提案(第2報)ー高齢者による有効性の検証ー 米田郁夫 河合俊宏 橋詰努	田島 健 / 板橋区 東京都板橋区役所新庁舎とユニバーサルデザイン 坂本健
10:45-11:00		

3. 開催概要

大会タイトル //

長寿社会のまちづくり すべての人がいきいきと暮らせるまちを目指して

会期 //

2015 年 8 月 7 日（金）～ 9 日（日）

会場 //

東京大学柏キャンパス環境棟および柏の葉カンファレンスセンター

主催 //

日本福祉のまちづくり学会（担当：関東甲信越支部）

大 会 長：大和裕幸（東京大学理事・副学長）

実行委員長：鎌田 実（東京大学大学院新領域創成科学研究科教授）

後援 //

柏市、東京大学大学院新領域創成科学研究科、内閣府、文部科学省、厚生労働省、経済産業省
国土交通省、（公社）土木学会、（一社）日本建築学会、日本生活支援工学会

協賛団体 //

（株）オリエンタルコンサルタンツ、（株）キクテック、（株）東横イン、ナカ工業（株）
八千代エンジニアリング（株）、ほか 1 社

広告協賛団体 //

（株）アークポイント、阿部スクリーン印刷（株）、（株）オリエンタルコンサルタンツ
柏商工会議所、（株）キクテック、（株）国際情報ネット、コマニー（株）、大和ハウス工業（株）
TOTO（株）、東武バスイースト（株）、（株）藤井製作所

展示協賛団体 //

（株）キクテック、コマニー（株）、大和ハウス工業（株）

協力組織 //

首都圏新都市鉄道株式会社、三井不動産株式会社、柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）
東京大学高齢社会総合研究機構・GLAFS

（＊協賛団体は五十音順で記載させていただきました）

大会主旨

千葉県柏市は、東京から約 30km のベッドタウンで、人口約 40 万人の市です。古くからの団地、新興住宅地のほか、最近ではつくばエクスプレスの沿線での新しいまちづくりもあり、市内に色々な側面をもつ地域から構成されています。特に UR 都市再生機構が昭和 40 年代に開発した団地は再開発の時期を迎えており、その 1 つの豊四季台団地では、柏市・UR・東京大学が共同して、長寿社会のまちづくりのプロジェクトを約 6 年前から実施しており、住み慣れた地域で安心して老いること（Aging in Place）の実践の場として有名です。また柏の葉キャンパス駅周辺の新しいまちづくりは UDCK というアーバンデザインセンターが中心となって、産学公民によるまちづくりが行われております。東京大学は柏キャンパスを 3 極構造の 1 つと位置づけ、学融合の新しいフロンティアを目指し、社会と連携していくような活動を目指しており、本大会は新領域創成科学研究科の環境棟を主会場として全国大会を開催いたします。

今回は、「長寿社会のまちづくり すべての人がいきいきと暮らせるまちを目指して」というタイトルとしました。超高齢社会への対応は、高齢者への対応だけでなく、全ての世代が暮らしやすいまちを作ることが重要です。柏での取り組みのほか、学会員が全国各地で取り組んでいる様々な活動の報告がなされます。

参加費

会員区分	大会参加費（※）	交流会参加費
一般会員	8,000 円	5,000 円
学生会員	3,000 円	3,000 円
非会員（一般）	10,000 円	5,000 円
非会員（学生：学生証の提示が必要です）	4,000 円	3,000 円

※概要集（CD-ROM）含む。7 月 7 日までの会員の事前申込は、参加費が 1,000 円割引になります。

日本福祉のまちづくり学会 第 18 回大会事務局

東京大学大学院新領域創成科学研究科人間環境学専攻 鎌田研究室内

277-8563 柏市柏の葉 5-1-5、TEL：04-7136-4667、FAX：04-7136-4666

問い合わせ先

福祉のまちづくり学会大会ヘルプデスク

E-mail：jais-desk@bunken.co.jp

FAX：03-3368-2822

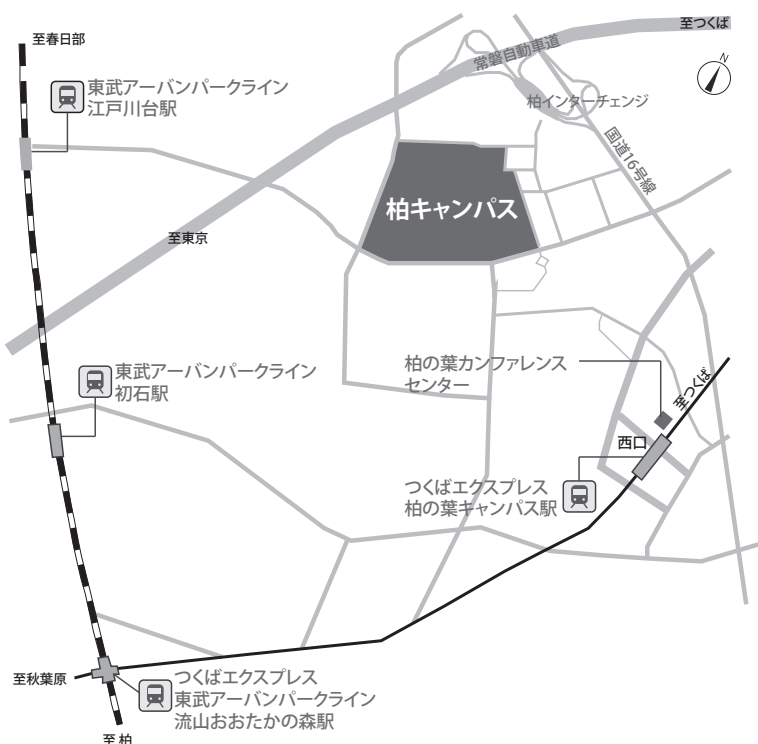
*なるべくメールまたは FAX でのご連絡をお願い致します。

交通アクセス

1. 主会場：東京大学・柏キャンパス（277-8561 千葉県柏市柏の葉 5-1-5）

2. 最寄り駅からのアクセス

- ・ 柏の葉キャンパス駅（つくばエクスプレス）からバス約 10 分（約 2km）
- ・ 柏の葉キャンパス駅は高架・相対型ホーム（EV2 基）と改札階とバス停の間は完全バリアフリー
- ・ 柏の葉キャンパス駅西口からの路線バスは「流山おおたかの森駅行、江戸川台駅行」で「東大西」下車。全便車いす対応。片道 170 円（JR 柏駅西口から、国立がん研究センター行きも利用可、所要約 25 分）。



路線バス

ピーク時間帯に貸切の無料シャトルバスを運行いたします（利用が集中するとご希望に沿えない可能性もあります。なるべく分散化へご協力ください）。

柏の葉キャンパス駅から東大西（東大構内）方面									
8 日（土）	8 時	12	(20)	30	35*	(40)	55		
	9 時	(00)	04	13	(20)	35	43	50*	
	10 時	05	21	33*	52				
9 日（日）	8 時	(00)	12	(20)	30	35*	(40)	55	
	9 時	(00)	04	13	35	43	50*		
	10 時	05	21	33*	52				
東大西（東大構内）方面から柏の葉キャンパス駅									
8 日（土）	17 時	01*	01	13	41	54*			
	18 時	01	11	24*	31	41	46*		
	19 時	11	18*	35	41	58			
	20 時	12*	(15)	18	23	33	(35)	46*	47 54
9 日（日）	11 時	10*	11	31	41	57			
	12 時	11	(15)	22*	31	(35)	41		

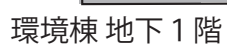
・（ ）は無料シャトルバスの発車時刻です。なお、無料シャトルバスは、柏の葉キャンパス駅西口の企業バス乗降場（三井ガーデンホテル前）から発車し、東大の構内まで乗り入れます。

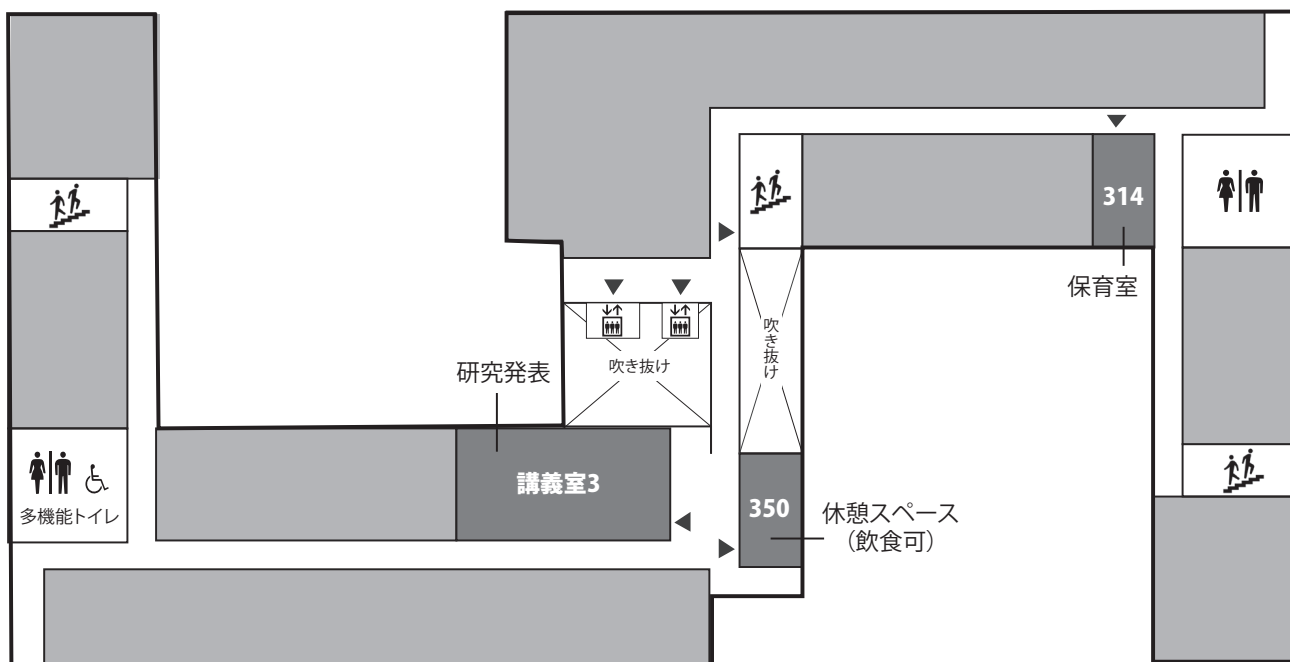
・時刻の右上に「*」がついたバスは小型タイプで、車いす使用者の定員は 1 名です。



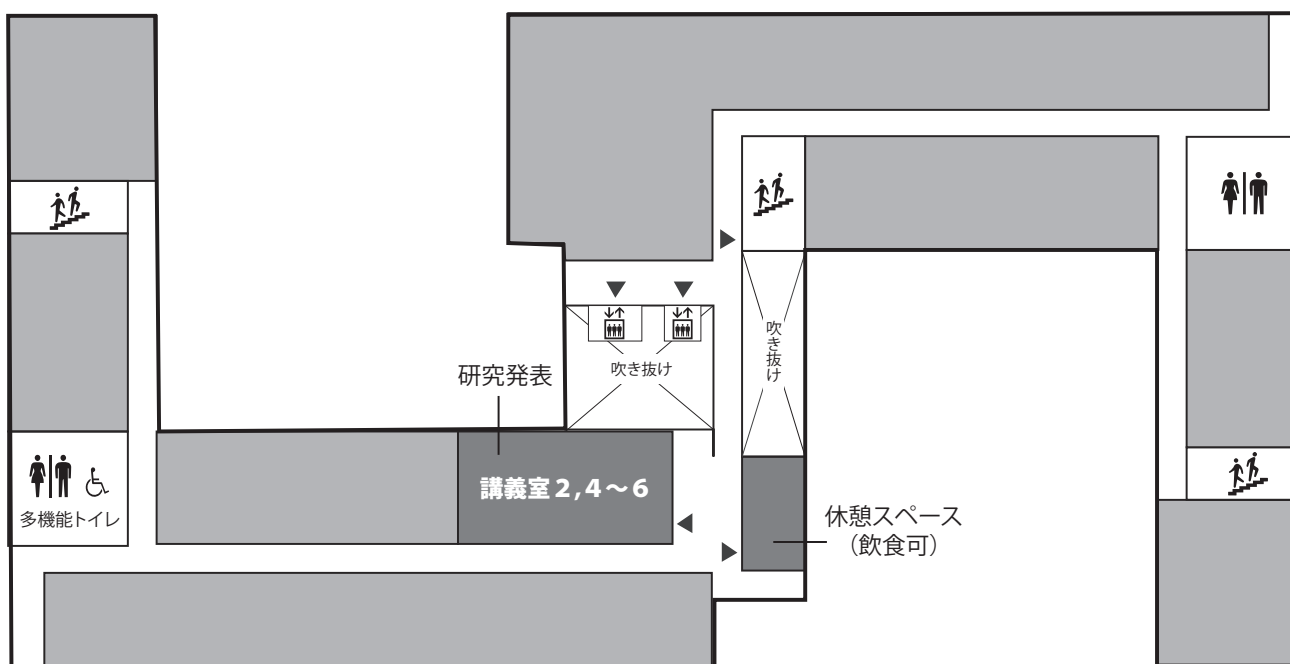
主出入口

※FSホール内急勾配階段注意
※FSホール内飲食禁止





環境棟 3 階



環境棟 2 階、4～6 階

4. 市民公開シンポジウム

概要

柏市では、環境未来都市の指定を受けて様々な取り組みを行っており、豊四季台で始めた長寿社会のまちづくりや、柏の葉で始めた健康未来都市のまちづくりの、全市への展開を計画しています。そこでこの全国大会の最後のイベントとして、市民公開シンポジウム「長寿社会のまちづくり：すべての人がいきいきと暮らせるまちを目指して」を実施いたします。秋山浩保市長からの基調講演の後、以下の示す様々な識者にご登壇いただきパネル討論を行います。柏での取り組みを学会員の皆様に伝えるとともに、学会の活動等を、柏市民など地域の方々に知ってもらう機会となることを期待しております。

日時・会場

2015年8月9日（日）13：30～16：00 柏の葉カンファレンスセンター

スケジュール

- 1）基調講演 秋山 浩保 柏市長（30分）
- 2）パネル討論 登壇者から10分程度の講演＋討論

登壇者	秋山 浩保	柏市長
	辻 哲夫	東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授
	出口 敦	UDCK センター長
	松井 宏昭	社会福祉法人青葉会 理事長
	長澤 京子	国立がん研究センター東病院 障害者職業生活相談員
	秋山 哲男	中央大学研究開発機構 教授
	大森 宣暁	宇都宮大学大学院工学研究科 教授
司会	大方 潤一郎	東京大学高齢社会総合研究機構 機構長

情報保障について

手話通訳、文字通訳（PC 要約筆記）があります。

登壇者紹介



秋山 浩保 あきやま ひろやす 柏市長

1968年9月6日生まれ。1992年筑波大学第三学群国際関係学類卒業、同年ベインアンドカンパニー入社。1995年株式会社フォーシーズ常務取締役役に就任、1997年以降経営コンサルタントとして、様々な会社の役員を歴任。1999年柏市長に初就任し、2003年2期目の当選を果たす。趣味はテニス、ソフトボール、野球、マラソン。好きな言葉は感謝。モットーは「初心忘るべからず」。



辻 哲夫

つじてつお

東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授

1971年東京大学法学部卒業後、厚生省（当時）に入省。老人福祉課長、国民健康保険課長、大臣官房審議官（医療保険・健康政策担当）、官房長、保険局長、厚生労働事務次官を経て、2008年4月から田園調布学園大学教授、2009年4月から東京大学高齢社会総合研究機構教授を務める。現在、東京大学高齢社会総合研究機構特任教授。厚生労働省在任中に医療制度改革に携わった。編著書として、「超高齢社会 日本のシナリオ」（時評社）等がある。



出口 敦

でぐち あつし

UDCK センター長

東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻・教授。東京都出身。1990年東京大学大学院博士課程修了（工学博士）。九州大学助教授、MIT 客員研究員、九州大学教授を経て、2011年より現職。専門分野は、都市デザイン学、都市計画学。著書に「アジアの都市共生」（編著、九州大学出版会）など多数。福岡都心部のエリアマネジメント協議会である「We Love 天神協議会」「博多まちづくり推進協議会」の設立に参画。柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）センター長も務める。



松井 宏昭

まつい ひろあき

社会福祉法人青葉会 理事長

社会福祉士、博士（農学）。1981年京都大学農学部卒業。農林水産省森林総合研究所に入所し木製福祉工学を研究、2014年退職。障害者福祉との関わりは、2002年千葉県柏市にてNPO法人自閉症サポートセンターを設立（理事長）。2003年から発達障害サポーター研修会を毎月開催（世話人代表）。2013年社会福祉法人青葉会を設立（理事長）。その他に、かしわ障害者をむすぶ会代表、柏市自立支援協議会会長、千葉県総合支援協議会委員など。



長澤 京子

ながさわ きょうこ

国立がん研究センター東病院 障害者職業生活相談員

国立研究開発法人国立がん研究センター東病院：障害者職業生活相談員／ジョブコーチリーダー。日本語教師、更生施設職員等を経て現職。立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科博士前期課程在籍中。NPO 法人全国福祉未来ネットワーク理事。専門は障害者雇用。厚生労働大臣指定ジョブコーチ養成研修、中国蘇州市リハビリテーション協会主催講演会等講師歴多数。障害者雇用促進イベントやソーシャルデザイン研修の企画等も手掛ける。



秋山 哲男

あきやま てつお

中央大学研究開発機構 教授

中央大学研究開発機構教授、日本福祉のまちづくり学会会長。東京生まれ、工学博士（東京大学）、東京都立大学・首都大学東京において、土木工学科、都市科学研究科、都市環境科学研究科（建築・都市コース、自然・文化ツーリズムコース）教授等を歴任し、北星学園大学経済学部客員教授を経て現職。（社福）新宿障害者福祉協会理事長、NPO 法人健やかまちづくり理事長。国土交通省、地方公共団体のバリアフリー、交通関連施策における多数の委員長を務める。



大森 宣暁

おおもりのぶあき
宇都宮大学大学院工学研究科 教授

1995年に東京大学工学部都市工学科卒業、2000年に同大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程修了、博士（工学）取得。その後、東京大学大学院新領域創成科学研究科助手、同大学大学院工学系研究科都市工学専攻講師および准教授を経て、2014年9月より宇都宮大学大学院工学研究科地球環境デザイン学専攻教授。専門は、都市交通計画、人の活動・交通行動分析、バリアフリーのまちづくり。JCOMM技術賞、ペアレネティングアワード等を受賞。

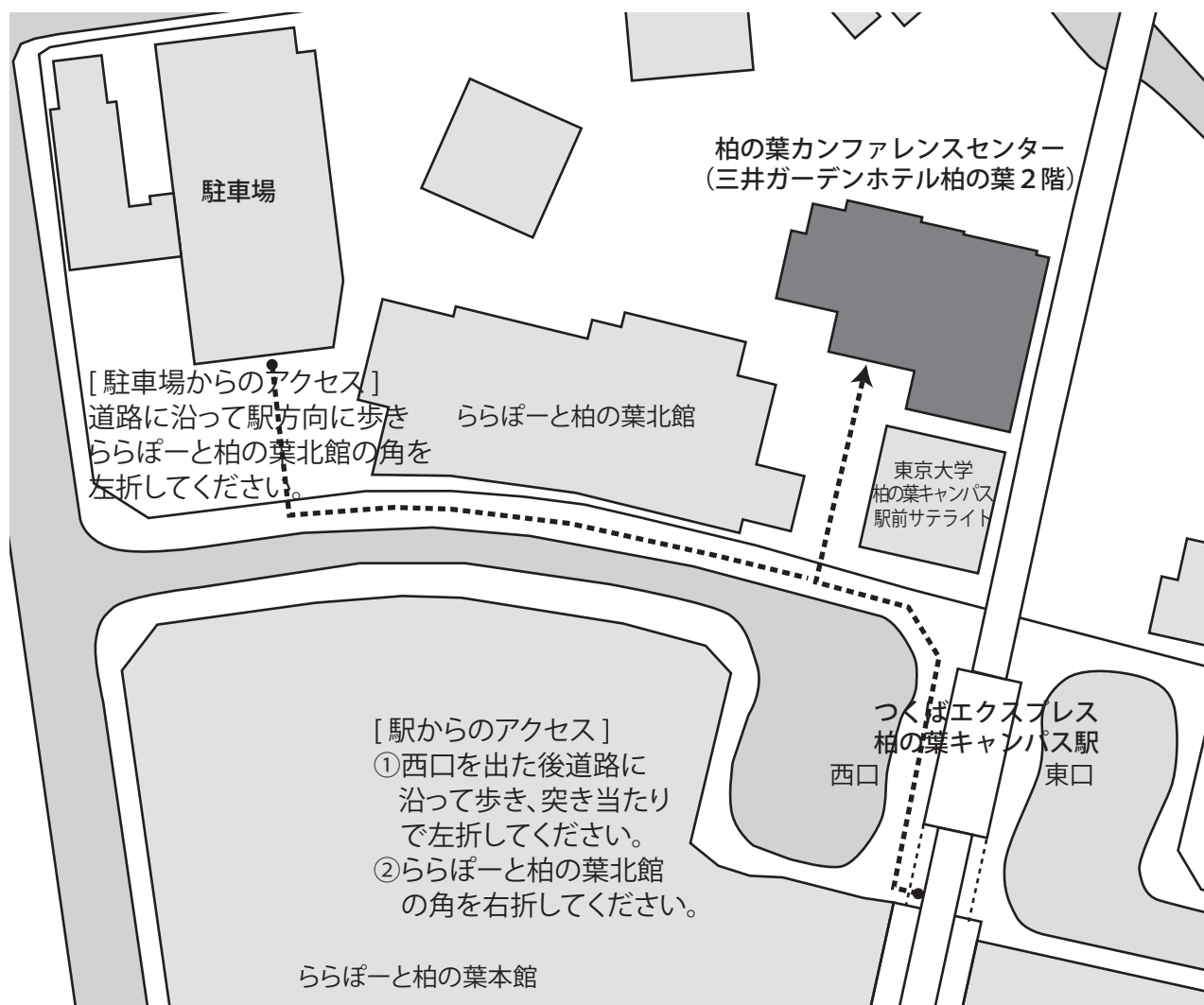


大方 潤一郎

おおかた じゅんいちろう
東京大学高齢社会総合研究機構 機構長

1954年生まれ。東京大学都市工学科の学部・大学院(博士課程)を卒業後、同 助手、横浜国大助手・助教授を経て、1996年東京大学都市工学科助教授、1999年から同教授。専門は都市計画、土地利用計画、まちづくり条例。2000年以降は、持続可能な都市空間の再生、超高齢社会対応のまちづくりに注力。311以降は、被災地の復興を通じた新たなコミュニティの形成に奮闘中。2013年度から高齢社会総合研究機構・機構長を兼務。

会場へのアクセス



5. 研究討論会

研究討論会 1 福祉のまちづくりにおける障害者差別解消法の役割と合理的配慮

日時・会場

8月8日（土）10:00～12:00 環境棟1階FSホール

趣旨

本年2月障害者差別解消法の基本方針が決定し、来年4月の法施行を目途に今後、国や地方公共団体において活発な議論が展開されなければならない。そこで、さまざまな立場での差別の実態を把握し、社会の共通課題として認識を広め、実効性のある制度実現をめざしていくものである。

概要

2015年2月障害者差別解消法の基本方針が決定し、現在、2016年4月の法施行を目指して各省庁において対応要領や対応指針の検討が急がれている。地方公共団体においても国の対応を待つだけでなく活発な議論を展開し、十分な準備を急ぐべきである。このために、現状における議論の進捗状況を踏まえて、日本の差別の現状について、差別とは何か、どのような場合に合理的配慮が求められるかなどについて、さまざまな立場から、実際の生活に即した視点でご発言を頂き、併せて今後の提言に資する討論を行うものである。

コーディネーター

高橋 儀平（東洋大学）

プログラム

- 10:00～10:05 趣旨説明：男鹿 芳則（世田谷区）
- 10:05～10:20 交通領域の差別事由と合理的配慮
松原 淳（交通エコロジー・モビリティ財団）
- 10:20～10:35 視覚障害者に対する差別の実態
高梨 健二（千葉県視覚障害者協会副理事長）
- 10:35～10:50 聴覚障害者に対する差別の実態
植野 圭哉（千葉県聴覚障害者協会理事長）
- 11:05～11:20 肢体不自由者に対する差別の実態
今西 正義（DPI日本会議）
- 11:20～11:35 国内の障害者人権条例の制定状況
男鹿 芳則（前掲）
- 11:35～12:00 討論
高橋 儀平（前掲）

研究討論会 2 当事者の視点を取り入れた施設や製品の開発

日時・会場

8月8日（土）13:00～15:00 環境棟1階FSホール

趣旨

JIS規格があれば誰にでも使いやすい製品が設計できるわけではないのと同じように、バリアフリーのガイドラインや調査報告も、それだけで誰にでも使いやすい施設や製品が設計できるわけではない。個々の施設や製品の特性に応じて、当事者の多様なニーズをどのように反映させるべきかを議論する。

概要

まず一般向け製品のユーザビリティ向上を追求している人間中心設計推進機構の早川氏に、ユーザーの視点を製品設計にどのように活かすかを紹介いただく。次に元日本盲人会連合の大橋由昌氏、カラーユニバーサルデザイン機構の伊賀公一氏、UDくまもとの矢ヶ部孝志氏に、視覚障害・色やデザイン・肢体不自由への対応について、障害当事者の視点を製品や施設設計に活かす取り組みを紹介いただく。最後に東京大学バリアフリー教育開発センターの星加良司氏に、障害学の立場から見た当事者の設計参加についてまとめていただく。

コーディネーター

伊藤 啓（東京大学）、中野 泰志（慶應大学）

プログラム

- 13:00～13:05 はじめに（趣旨説明）
伊藤 啓（前掲）
- 13:05～13:27 製品・システム・サービスにおける使いやすさの実現
早川 誠二（人間中心設計よろず相／NPO法人人間中心設計推進機構 前理事）
- 13:27～13:49 視覚障害者に分かりやすい製品・施設への協力
大橋 由昌（日本盲人会連合・総合企画審議会委員）
- 13:49～14:11 色とデザインの分かりやすさへの協力
伊賀 公一（NPO カラーユニバーサルデザイン機構）
- 14:11～14:33 肢体不自由者の使いやすさへの協力
矢ヶ部 孝志（UDくまもと）
- 14:33～14:55 障害者の立場から見た当事者の設計参加
星加 良司（東京大学）
- 14:55～15:00 おわりに
中野 泰志（前掲）

研究討論会3 オリンピック・パラリンピックの競技場・交通・情報提供の課題と今後

日時・会場

8月8日(土) 15:30～17:30 環境棟1階FSホール

趣旨

2020年の東京でのオリンピック・パラリンピックの開催に際し、競技場・交通・情報提供の各領域において、わが国の福祉のまちづくりのこれまでの到達状況を確認し、既開催地ロンドンの現地調査、国内競技場の実態調査等の結果を踏まえ、現状の課題及び今後の方向性について討論します。

概要

競技場・交通・情報提供それぞれの領域における調査(ロンドンを含む)結果の基調報告を元に、2012年のロンドンオリンピック・パラリンピック開催時の対応やその後の変化から学ぶべきものを示します。また、障害者団体による競技場施設などの調査及び提言、組織委員会等によるアクセシビリティガイドラインのとりまとめ状況、情報提供の技術開発と求められる情報提示のあり方、東京におけるオリンピック・パラリンピック開催と終了後を見据えた福祉のまちづくりの成果をどのように実現していくか、基調報告者を含めた関係パネリストによるディスカッションを行います。

コーディネーター

秋山哲男(中央大学研究開発機構)

プログラム

15:30～15:35 開催趣旨

澤田 大輔(交通エコロジー・モビリティ財団)

15:35～15:45 日本福祉のまちづくり学会のオリンピック・パラリンピックに向けた動き

秋山 哲男(前掲)

15:45～16:30 基調報告

1) ロンドンオリンピック・パラリンピックにおける公共交通機関の対応からの教訓

竹島 恵子(交通エコロジー・モビリティ財団)

2) ロンドンの経験から見た2020に向けた情報技術と情報提供のあり方

金丸 直義(NTTサービスエボリューション研究所)

3) 競技場及び会場アクセスの調査と今後の課題

川内 美彦(東洋大学)

16:35～17:25 パネルディスカッション

パネリスト: 高橋 儀平(東洋大学)、山崎 涼子(DPI日本会議・CIL 小平)

及び上記講演者

17:25～17:30 まとめ: 秋山 哲男(前掲)

研究討論会 4 これからの情報技術を考える

— 情報障害者への対策と今後の情報技術のあり方について —

日時・会場

8月9日（日）9:30～11:30 環境棟1階FSホール

趣旨

これまでは情報障害者への情報提供システムの統合が難しく、それぞれのシステムごとにそれぞれデバイスが存在し、ユーザーは多くのデバイスを持たなくてはならなかった。結果として、情報障害者へのITによる支援技術は普及してこなかった。しかし近年、スマートフォンやタブレットPCの普及により、状況は一変した。更に、画像認識技術などの著しい進歩も加わり、情報障害者への様々な支援技術・サービスが登場してきている。

他方、このような急速な情報技術の開発は、シーズ（技術）先行型で進められることが多く、その使い方・使いこなし方はユーザー任せにされているという実態もある。また、発信される情報の内容について、発信者と利用者の中でズレ（利用者ニーズに合致していない）が生じてきていることも、前回の本委員会の公開研究会でも指摘された。加えて、実際の障害者の生活の中で、すでに膨大な「情報」が身体化され利用されていることは、これまで本委員会の公開研究会等で確認されてきた。

このように多くの情報があふれる中で、これらの情報を使いこなせる者とそうでない者との格差やツール依存の弊害も、指摘されている。

そこで本研究討論会では情報障害者への対策の現状の課題を整理し、都市・建築空間においてどのように情報提供を行っていけばよいのか、その方法と情報技術のあり方について、参加者と一緒に議論したい。

概要

IT関係者とユーザー、実務設計者より本テーマについて、その立場から基調講演をいただき、情報障害者への情報提供技術の現状と課題を洗い出し、今後のそれぞれの役割とあるべき姿を、参加者とともに考える。

コーディネーター

松田 雄二（東京大学）、原 利明（鹿島建設）

プログラム

- 9:30～ 9:35 開催趣旨：松田 雄二（前掲）
- 9:35～ 9:55 話題提供1：障害者と情報化
関根 千佳（同志社大学）
- 9:55～ 10:15 話題提供2：ウェブサイト提供者が抱える課題
山田 肇（東洋大学）
- 10:15～ 10:35 話題提供3：視覚障害者の立場から情報化を考える
武者 圭（サウンドスケープデザイナー）
- 10:35～ 11:25 パネルディスカッション（司会：松田 雄二）
- 11:25～ 11:30 まとめ：原 利明（鹿島建設）

6. イベント案内

特別イベント「シニアチア」

日時・会場

8月8日(土) 17:40～18:00・環境棟1階FSホール

概要

チームJSCAによる華麗なシニアチアを特別イベントとして実施します。

チームJSCAのプロフィール

【日本シニアチア協会オフィシャルユニット「チームジェスカ」&「ジェスカマスターズ」】
「チームジェスカ」&「ジェスカマスターズ」は、日本シニアチア協会オフィシャルユニットとして、シニアチア、ミセスチア全体の普及とレベル向上を目的に活動中。平均年齢は60歳越。最高年齢は72歳。自らの楽しみだけでなく、シニアチアのパイオニアとして、競技大会、メディア、イベント、CM等において、シニアチアパフォーマンスを展開。

日本シニアチア協会 <http://www.jsca-net.com/cheerfesta/cheerfest2015.htm>



メンバー(左)、東大・柏市・URのまちづくりシンポジウムの出演の様子(右) チームJSCA提供

学会賞授賞式

日時・会場

8月8日(土) 18:00～18:15 環境棟1階FSホール

概要

第6回学会賞授賞式(選考委員会委員長:磯部 友彦)

■論文賞1件

砂川 尊範、鈴木 清、土井 健司

「歩道清掃状態が歩行者の安全性と快適性に及ぼす心理・行動的影響に関する研究」
福祉のまちづくり研究、16-3 (2014. 11)

■市民活動賞2件

- ・愛知 TRY の活動 代表者:近藤 祐次(愛知 TRY 実行委員長)
- ・地域福祉ネットワークの構築と防災教育活動の取り組み

代表者:NPO 法人 FOR YOU にこにこの家

なお、市民活動賞2件については、ポスター展示を行いますのでご覧ください。

交流会

日時・会場

8月8日(土) 18:20～20:00・東大柏キャンパス内「プラザ憩い」(15ページ参照)

参加費

5,000円(学生は3,000円) 当日の申し込み、参加も可能です。

7. 見学会 2015 年 8 月 7 日（金）開催

見学会 A 豊四季台地域の長寿社会のまちづくり（10:00 ～ 11:30）

- ・概要：柏市の豊四季台地域には昭和 40 年代に建設された公団（現 UR）の豊四季台団地があり、居住者の高齢化と建物の老朽化が進んでいる。その再開発にあわせて、柏市・UR・東京大学が共同で長寿社会のまちづくりに取り組んできている。古い建物を除去し、高層の新しい建物の建設による空きスペースに、在宅医療等の拠点やサービス付高齢者向け住宅などの建設を行い、医療・ケアのサービスを地域へ展開できるようになったほか、高齢者の生きがい就労の場の開拓などもあわせ、柏プロジェクト・柏モデルと称して有名になっている。本見学会では、プロジェクトの詳細説明を受けて、現地の見学を行う。
- ・定員は 50 名程度。事前登録制（先着順）で、現地集合、現地解散。

見学会 B1 国立がん研究センター東病院における障害者雇用（13:50 ～ 15:20）

- ・概要：国立がん研究センター東病院では、障害の有無に関わらず、誰もが共同で働ける職場を実現している。現在、身体・知的・精神・発達の 4 障害の方々が、それぞれの職場で活躍しており、平成 23 年度からは知的障害者がジョブコーチの指導のもと、医療関連業務に従事している。これまで、障害者雇用は清掃や繰り返し作業等の業務分野で取り組み事例が多かったが、本事例では医療関連業務という看護師の業務の一部を代行する（専門職でなくてもできるもの）という形での障害者雇用を実現しており、病院で働く障害者の新しい職域として、新たな雇用の可能性に、各方面より関心を集めている。本見学会では、障害者雇用の現場視察の後、指導にあたるジョブコーチの説明を受け、質疑応答を行う。
- ・定員は 15 名程度（介助者等を含む）。事前登録制（先着順）で、現地集合、現地解散。

見学会 B2 柏の葉地域における健康未来都市のまちづくり（13:30 ～ 15:30）

- ・概要：柏の葉キャンパス駅周辺は、つくばエクスプレスの開業にあわせて新しく街が出来た場所で、去年のホテル等の施設開業により、スマートシティとしての構成が整った。「世界の未来像」をつくる街をキーワードに、諸々の設備と事業がなされているが、UDCK というアーバンデザインセンターが中心になり、公民学の連携で新たな街づくりを実践している。また、東京大学 HIP（ヘルスケア・イノベーション・プロジェクト）が中心になって、健康未来都市を目指した活動も行っている。本見学会では、UDCK に集合して取り組み内容等の説明を受け、その後施設等の見学を行う。
- ・定員は 30 名程度。事前登録制（先着順）で、現地集合、現地解散。

サロン 東大高齢社会総合研究機構（IOG）の活動等の説明（午後全般）

- ・場所：東大柏キャンパス第 2 総合研究棟（15 ページキャンパスマップ参照）
- ・概要：東大 IOG 内の一室で休憩しながら IOG 活動等の説明を受けられる場を設定します。事前申込等は不要です。要望に応じてラボツアーも実施予定。

8. 実行委員名簿

大会長

大和 裕幸（東京大学理事・副学長）

実行委員会

委員長：鎌田 実（東京大学大学院新領域創成科学研究科教授）

副委員長：石黒 博（柏市副市長）、大森 宣暁（宇都宮大学）

佐藤 克志（日本女子大学）、出口 敦（UDCK）

顧問：秋山 浩保（柏市長）、原田 昇（東京大学 GLAFS 前責任者）

大方 潤一郎（東京大学高齢社会総合研究機構長）

監事：高橋 儀平（東洋大学）

幹事団：平田 賢典（立教大学大学院）、江守 央（日本大学）、寺島 薫（アークポイント）

西出 和彦（東京大学）、および委員長・副委員長

企画：長谷川 万由美（宇都宮大学）、男鹿 芳則（世田谷区役所）、土橋 喜人（国際協力機構）

有賀 絵理（茨城大学）、芦澤 慎二（柏市役所）、奥山 勤也（柏市役所）

内埜 裕子（柏市役所）、三牧 浩也（UDCK）、林 隆史（国土技術研究センター）

高橋 良至（東洋大学）、別府 知哉（八千代エンジニアリング）

北野 知裕（八千代エンジニアリング）

論文：小坂橋 恵美子（淑徳大学）、澤田 有希（国立障害者リハビリテーションセンター

研究所）、長野 博一（荒川区役所）、八藤後 猛（日本大学）、稲垣 具志（日本大学）

中野 泰志（慶應義塾大学）

運営：橋本 美芽（首都大学東京）、永元 真也（アルメック VPI）、山崎 晋（小山高専）

河合 俊宏（埼玉県総合リハビリテーションセンター）、山田 義文（東洋大学）

二瓶 美里（東京大学）、澤田 大輔（エコモ財団）、松田 雄二（東京大学）

アクセス・情報保障・保育：

沼尻 恵子（国土技術研究センター）、竹本 由美（国土技術研究センター）

藤村 万里子（国土技術研究センター）、平山 清美（アークポイント）

広報・渉外：大村 薫（日本女子大学）、竹島 恵子（エコモ財団）、沼尻 恵子（前掲）

芦澤 慎二（前掲）、三牧 浩也（前掲）

事務局：二瓶 美里（前掲）、西野 亜希子（東京大学）、上野 俊行（東京大学）

伊藤 啓（東京大学）、小竹 元基（東京大学）

本部事務：清水 政司（地域開発研究所）、小林 佳代（学会事務局）

プログラム冊子編集

松田 雄二（前掲）

紺野 光（東京大学、プログラム表紙・概要集（CD-ROM）表紙デザイン）

川上 咲久也（東京大学、プログラム本文デザイン）